

令和6年度 地域研修(宮崎県) 地域研修カリキュラム

(1) オンデマンド講義(LMSを利用) 視聴期間:12月6日(金)～1月15日(水) 必須単元の視聴時間 防災部局 約7.3時間 / 福祉部局 約5時間

: 基礎的な内容の単元 : 応用的な内容も含む単元 ●: 受講必須 ◇: 受講任意

区分	単元		防災部局	福祉部局	単元の概要	時間(目安)	講師	単元の学習目標
災害対応業務全般	1	防災行政概要	◇	◇	災害対応の全体像について学ぶ。	19分	鈴木 毅 (元 内閣府)	・防災に関する業務全体を俯瞰し、各業務の概要・位置付けを説明できる。
	2	災害法体系と災害対策基本法の概要	◇	◇	災害関連法の体系と災害対策基本法の概要を学ぶ。	14分	佐々木 凜太郎 (内閣府)	・災害関連法の体系と災害対策基本法の概要を説明できる。
	3	防災計画の概要	◇	◇	防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画等の概要を学ぶ。	15分	沖 麻未 (内閣府)	・防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画等の概要を説明できる。
地域の災害特性	4	地域の災害特性	●	◇	地域の災害特性(地域の脆弱性含む)、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ。	60分	萩原 光治 (宮崎地方气象台)	・地域の災害特性と想定される被害の概要を説明できる。
災害から命を守る	5	「避難情報に関するガイドライン」の経緯	●	●	「災害から命を守る」ための基本的な知識として、防災気象情報の概要や、避難情報の意味や内容を学ぶ。	14分	牛山 素行 (静岡大学)	・災害情報に関する基礎的な概念を説明できる。 ・内閣府「避難情報ガイドライン」のこれまでの動向について説明できる。
	6	避難行動の概要	●	●		17分	牛山 素行 (静岡大学)	・避難行動の意味や分類を説明できる。 ・高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保の意味を説明できる。
	7	防災気象情報の概要	●	●		22分	天羽 達 (気象庁)	・警報等の防災気象情報を受けた災害対応過程と態度を学ぶ。
	8	避難情報の発令判断・伝達等	●	●		14分	星尾 日明 (内閣府)	・避難情報の発令に関する災害対応過程と態度を学ぶ。
被災者への支援	9	災害救助法の概要	●	●	災害救助法の概要を学ぶ。	17分	阿部 嘉信 (内閣府)	・災害救助法の概要を説明できる。
	10	避難所の開設・運営の概要	●	●	避難所の開設・運営の概要を学ぶ。	15分	伊藤 靖晃 (元 内閣府)	・避難所の設置主体や役割を説明できる。 ・発災前に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる。 ・発災後に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる。
	11	被害認定調査・罹災証明書の概要	●	●	被害認定調査・罹災証明書交付の概要について学ぶ。	6分	湯浅 翔 (内閣府)	・被害認定調査・罹災証明書の概要について説明できる。
	12	仮設住宅の供給の概要	●	●	仮設住宅の供給の概要について学ぶ。	16分	阿部 嘉信 (内閣府)	・仮設住宅の供給の概要を説明できる。
	13	被災者生活再建支援制度の概要	●	●	被災者生活再建支援法と業務の概要を学ぶ。	11分	宮下 浩平 (内閣府)	・被災者生活再建支援法と業務の概要を説明できる。
個別避難計画	14	避難行動要支援者の避難支援	●	●	個別避難計画の概要を学ぶ。	16分	藤田 亮 (内閣府)	・避難行動要支援者名簿の概要を説明できる。 ・個別避難計画の概要を説明できる。
	15	個別避難計画の作成	●	●	令和3年3月の災害対策基本法において、市町村に作成が努力義務化された個別避難計画作成のステップとその機能を学ぶ。	29分	藤田 亮 (内閣府)	・避難行動要支援者の避難行動支援について説明できる。 ・脆弱化した社会と正常化の偏見を説明できる。 ・近年の災害と高齢者、障がい者等の被害を説明できる。 ・避難関連計画と個別避難計画作成のステップを説明できる。 ・福祉避難所ガイドライン改定を説明できる。 ・個別避難計画と福祉BCP、地区防災計画の関係を説明できる。 ・個別避難計画の作成に関する取組事例について説明できる。
			●	●		69分	鍵屋 一 (跡見学園女子大学)	
			●	●		37分	藤田 亮 (内閣府)	
多様な主体・視点による災害対応	16	多様な主体による避難所運営	●	●	地域の多様な主体が避難所運営に関わることの意義を学ぶ。	15分	本間 優子 (元 内閣府)	・地域の多様な主体が避難所運営に関わることの意義を説明できる。
	17	災害時における男女共同参画の視点からの取組の概要	◇	◇	災害時における男女共同参画の視点を学ぶ。	14分	藤田 昌子 (内閣府男女共同参画局)	・災害時における男女共同参画の視点から取り組むべき事項を説明できる。
災害時の応援・受援体制	18	受援体制と受援計画の概要	●	◇	受援体制と受援計画の概要について学ぶ。	15分	久保田 崇史 (内閣府)	・受援体制整備の必要性について説明できる。 ・外部団体から応援を受け入れる上での心構えやポイントについて説明できる。 ・受援計画の中で整備すべき項目について説明できる。
	19	応急対策職員派遣制度等の概要	●	◇	応急対策職員派遣制度等の概要について学ぶ。	14分	佃 侑祐 (総務省応援派遣室)	・応急対策職員派遣制度の概要について説明できる。 ・総括支援チームの役割について説明できる。 ・応援職員の力を活かすために必要な体制について説明できる。
	20	地方公共団体間の相互応援と受援体制	●	◇	災害時の行政機関の間で行われる応援受援の仕組みと受援体制について学ぶ。	53分	田代 崇憲 (大野城市)	・応急活動の実施にあたっての行政職員の確保の重要性を説明できる。 ・行政機関の間で行われる応援受援の仕組みを説明できる。 ・行政機関の応援受援を円滑に行うための留意点を説明できる。
地域の防災力の育成	21	地域の自主的な防災活動	◇	◇	住民の自主防災組織の意義・役割と行政による推進策について学ぶ。	12分	丸谷 浩明 (東北大学)	・自主防災組織の目的と制度概要について説明できる。 ・自主防災組織に期待される役割と現状、課題について説明できる。 ・地域の他の自主的な防災団体の役割と現状、課題について説明できる。 ・地域の防災訓練の意義と基本的な方法について説明できる。
			◇	◇		61分	辻川 祐生 (北九州市消防局) 古川 裕子 (若松区東28区市民防災会)	
	22	地域防災リーダーの育成	◇	◇	地域における防災リーダーの育成の意義と研修の企画、実施手法を学ぶ。	51分	重川 希志依 (常葉大学)	・地域の防災リーダーの育成に関する基本的な考え方を説明できる。 ・地域の防災リーダーの育成に関する留意点を説明できる。
			◇	◇		22分	元谷 豊 (サイエンスクラフト)	

（２）リアルタイム研修(対面形式) 開催日:1月16日(木) 9:30～17:00 会場:宮崎県庁

※以下は調整中の内容を含みますため、一部変更の可能性があります。

時間	単元	単元の概要	時間 (目安)	講師等	学習目標
09:30 ～09:40	- (オリエンテーション)		10分	(事務局)	
09:40 ～11:40	1 【講義】 近年の大災害と個別避難計画	近年の大災害での事例を通じて、個別避難計画になぜ取り組まなければならないかを学びます。	120分	鍵屋 一 (跡見学園女子大学)	・災害時における要配慮者の避難の課題が説明できる。 ・個別避難計画になぜ取り組まなければならないかが説明できる。
11:40 ～12:40	- (昼休み)		60分		
12:40 ～14:10	2 【演習】 要配慮者避難の事例研究	ワールドカフェ形式で参加者同士の顔の見える関係をつくり、要配慮者避難の事前の取り組みへの気づきを深めます。	90分	鍵屋 一 (跡見学園女子大学)	・要配慮者避難の事前の取り組みの重要性が説明できる。
14:10 ～14:20	- (休憩)		10分		
14:20 ～15:40	3 【演習】 個別避難計画の作成	自組織の個別避難計画の様式を持ち寄り、個別避難計画の作成上の課題を共有し、質疑応答で課題への対応策や解決策のヒントを学びます。	80分	鍵屋 一 (跡見学園女子大学)	・個別避難計画の作成について、課題への対応策や解決策のヒントが説明できる。
15:40 ～15:50	- (休憩)		10分		
15:50 ～16:50	4 【演習】 全体討論(ふりかえり)	研修全体を通じて学んだことから、地域の防災力向上や備えに反映させるべきことを受講者間で考える。	60分	事務局 鍵屋 一 (跡見学園女子大学)	・研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・日頃からの「備え」につなげることを認識する。
16:50 ～17:00	- (閉講)		10分	(事務局)	